授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ （地域診断：事業計画）　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	熊澤　由美子	実務経験の有無	有	開講期	３年後期
科目ナンバリング	N6-3017pht				

【授業の主題】

実習に出向く自治体について既存資料を基に地域アセスメントを行う。地域の特性、顕在的・潜在的健康課題を明確にし、その解決の方向性を見出す地域アセスメントの過程を実践する。課題に対する事業・施策の案も考察する。

【到達目標】

1．地域における多様な人々の健康課題について明らかにするための地域診断の手法について具体的に説明できる。
2．健康問題や健康課題を解決するため，地域診断の一連の過程を実践できる。
3．地域特性を踏まえた健康課題を解決するための事業・施策について理解できる。
4．社会資源を把握、アセスメントし不足する資源を明らかにできる。

【授業計画・内容】

第１回　オリエンテーション・統計情報の分析の仕方・地域診断の枠組み
第２回　ライフステージ別地域アセスメント
第３回　保健所の管轄地域の概要まとめ
第４回　保健所の概要発表
第５回　市町村既存資料の収集と分析：市町村の概要、人口構成
第６回　既存資料の収集と分析：家族と人々・健康と人々・労働と人々
第７回　既存資料の収集と分析：地域の健康状態を表すデータ
第８回　既存資料の収集と分析：地域の健康状態を表すデータ
第９回　既存資料の収集と分析：地域内外の社会資源
第 10 回　地域特性と地域の健康状態の統合
第 11 回　地域特性と地域の健康状態の統合
第 12 回　健康課題の検討
第 13 回　地域診断まとめ
第 14 回　プレゼンテーション準備
第 15 回　地域診断地域プレゼンテーション

【授業実施方法】

講義、演習

【事前・事後学習】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」を中心に保健師科目で学んだ内容が基礎となるため、講義前に復習する。
授業の前後それぞれ２時間以上の予習・復習をする。

【主な関連する科目】

公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」「保健統計学」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」等、公衆衛生看護学に関連する科目

【教科書等】

保健学講座２　公衆衛生看護支援技術　メヂカルフレンド社
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2023/2024 年」2024 年　一般財団法人　厚生労働統計協会

【参考文献】

佐伯和子：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第２版
地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案，医歯薬出版株式会社，2018

【成績評価方法】

筆記試験 70%、演習への取組 10%、レポート等 20%により総合的に評価する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師の経験を活かし、実習地の健康課題を見出すとともに、地域に暮らす人々への敬意や、健やかな生涯を過ごすことを健康面から支えるという公衆衛生看護の視点を授業で紹介します。

【学生へのメッセージ】

地域診断の具体的な演習を進めます。情報収集で得られたデータについて“なぜ・どうして”という思いを大切にしながら柔軟に取り組みましょう。グループでの作業になるためメンバーシップを大切にしながら積極的に取り組みましょう